

# 災害用備蓄食料の余剰分を寄付！

生活に苦しむ人に  
エンジン食糧寄付

市社協に195食分

LPガス販売のエンジン  
(浜松市中央区高林)は5  
日、生活困窮者らを支援し  
ようと、市社会福祉協議会  
に災害用の備蓄食糧195  
食分を寄付した。写真。

同社は備蓄食糧を訓練な  
どで使用している。寄付は  
2021年11月以来2回  
目。食糧はレトルト食品や  
缶詰のパンなどで、余剰分  
を贈った。中央区成子町の



市社協で贈呈式があり、山  
下文彦常務理事は「本当に  
ありがたい。生活困窮者ら  
に提供したい」と感謝。藤  
田源右衛門社長は「食糧の  
備蓄をしている企業は増え  
てきている。こうした取り  
組みが広がるきっかけにな  
れば」と話していた。

(木造康博)

防災訓練等で毎年備蓄している食料の余剰分を、市社会福祉協議会を通して寄付。生活に苦しむ人へのお役立ちとして、備蓄食料を約195食分を送りました。食料備蓄する企業が増える中、余剰分をただ処分するのではなく、支援に繋がるような取り組みを積極的に広げていきたいと思っております！

令和6年(2024年)3月7日(木) 中日新聞

